

古賀和則教授 略歴

古賀和則

1946年10月4日生まれ

学歴

1969年3月 九州大学文学部哲学科宗教学専攻卒業
 1969年4月 九州大学大学院文学研究科宗教社会学修士課程入学
 1971年3月 九州大学大学院文学研究科宗教社会学修士課程修了
 1971年4月 九州大学大学院文学研究科宗教社会学博士課程入学
 1974年3月 九州大学大学院文学研究科宗教社会学博士課程単位取得満期退学（文学修士）

職歴

1976年4月 九州大学文学部助手（1978年3月まで）
 1978年4月 文化庁文化部宗務課専門職員（1987年9月まで）
 1987年9月 文化庁文化部宗務課専門員（1988年3月まで）
 1988年4月 龍谷大学助教授（1998年3月まで）
 1998年4月 龍谷大学教授（現在に至る）

非常勤講師

西日本短期大学，青山学院大学，放送大学学園

学会・社会における活動

1971年10月 日本宗教学会会員（現在）
 1977年4月 日本社会学会会員（2009年まで）
 1980年10月 宗教学会会員（2009年まで）
 1997年4月 龍谷大学評議員（1999年3月まで）
 1989年10月 日本宗教学会評議員（現在）
 1989年 関西社会学会会員（現在）
 1998年9月 日本宗教学会理事（現在）
 1999年4月 龍谷大学社会学部長（2003年3月まで）
 1999年12月 滋賀県高齢化対策審議会委員・副会長（2003年11月30日まで）
 2002年 宗教学会理事（2009年まで）
 2003年 独立行政法人日本学術振興会科学研究費委員会専門委員（2004年12月31日まで）
 2003年 滋賀県山東町生涯学習まちづくり大学副学長（2005年まで）

研究業績

編著書

古賀和則編著『宗教・地域・家族－イメージの検証』1999.12，行路社

学術論文

1. 「基養父地域における新後生の研究」(単著), 1972, 西日本宗教学会編『西日本宗教学雑誌』No.2, pp.65-80
2. 「秘密念仏集団, 新後生の一研究」(単著), 1978. 4, 日本宗教学会『宗教研究』第 235 号, pp.23-50
3. 「古野清人-宗教のロマンスと科学的探求」(単著), 1979. 7, 国際宗教研究所『国際宗教ニューズ』第 17 卷, 第 1・2 号, pp.42-54
(Furuno Kiyoto: The Romance and the Pursuit of Science, 1981. 6, *Japanese Journal of Religious Studies*, Vol.7-No.2-3)
4. 「宗教法人をめぐる諸情勢」(単著), 1980. 10, 龍谷大学宗教法研究会編『宗教法講座』No.5, pp.1-26
5. 「社会教育と宗教」(単著), 1985. 10, 日本宗教学会・宗教と教育に関する研究会編『宗教教育の理論と実際』すずき出版
6. 「現代社会における神社の動態」(単著), 1981. 3, 田丸徳善編『現代社会の宗教』pp.1-15
7. 「幕藩体制下の宗教統制の一側面-宝暦年間の対馬藩の新後生統制を事例として(上・下)」(単著), 1987. 5, 1988. 4, 西日本宗教学会編『西日本宗教学雑誌』No.9, 10
8. 「新後生の動態」(単著), 1989. 10, 龍谷学会編『龍谷大学論集』第 434・435 合併号, pp.723-740
9. 「宗教法人法成立過程に関する予備的考察」(単著), 1990. 3, 宗教法学会『宗教法』No.9, pp.92-112
10. 「金堂の宗教」(西光義秀, 山本哲司との共著), 1991. 3, 龍谷大学地域総合研究所編『地域総合研究』創刊号, pp.103-133
11. 「占領下における宗教行政の変容-文部省宗務課と CIE 宗教課」(単著), 1992. 3, 龍谷大学宗教法研究会『宗教法研究』第 11 輯, 法律文化社, pp.3-26
12. 「伊野部の宗教-ムラごととしての宗教の素描-」(西光義秀, 山本哲司との共著), 1992. 3, 龍谷大学地域総合研究所編『地域総合研究』第 2 号, pp.37-75
13. 「村落社会における伝統的宗教講の諸機能」(単著), 1993. 3, 龍谷大学地域総合研究所編『地域総合研究』第 3 号, pp.12-23
14. 「北諸県地方のシント寺元と真宗里寺-「かくれ念仏」の事例として-」(単著), 1993. 3, 中別府温和編『霧島周辺地域の「かくれ念仏」信仰の伝達過程に関する比較研究』
15. 「宗教制度の改編過程-宗教行政を中心として-」(単著), 1993. 8, 井門富二夫編『占領と日本宗教』未来社, pp.203-217
16. 「「かくれ念仏」の多様性」(単著), 1993. 12, 龍谷大学仏教文化研究所『龍谷大学仏教文化研究所紀要』第 32 集
17. 「村落社会における宗教的表象と自然」(単著), 1995. 6, 日本宗教学会『宗教研究』第 69 巻第 1 号, pp.113-133
18. 「占領下における宗教法人関係法令草案作成の構図」(単著), 1997. 3, 日本近代仏教史研究会編『日本近代仏教史研究』第 4 号, pp.20-30
19. 「総論-五個荘町域村落のエコロジー, 人口, 家族, 社会組織, 宗教」(口羽益生との共著), 1997. 5, 口羽益生編『近江商人の里-五個荘町域の伝統と現在-』行路社, v-xxv
20. 「村落の社会関係」(単著), 1997. 5, 口羽益生編『近江商人の里-五個荘町域の伝統と現在-』行路社, pp.113-136
21. 「カヤカベの現況」(中別府温和との共著), 1999. 3, 龍谷大学国際文化研究所『国際社会文化研究所紀要』創刊号, pp.165-186
22. 「在地の浄土志向型教団としてのカヤカベ」(単著), 1999. 3, 龍谷大学社会学部創設 10 周年記念

事業委員会編『社会・宗教・福祉』, 法律文化社, pp.147-164

23. 「家族と村のなかの禁制宗教－田代領における新後生－」(単著), 1999. 12, 古賀和則編著『宗教・地域・家族－イメージの検証』, 行路社
24. 「弾圧下の信者の内的世界－認知的不協和の理論からの試論－」(単著), 2001. 9, 龍谷大学社会学部学会『社会学部紀要』第19号, pp.30-40
25. 「寺院の社会活動に関する一試論－浄土真宗本願寺派第8回宗勢基本調査から」(単著), 2007年3月, 教学伝道研究センター『浄土真宗総合研究』第2号, pp.147-166

調査報告

1. 『世界の宗教事情調査報告書』(共著), 1979. 文化庁
2. 『宗教法人の組織・運営等に関する調査報告書』(竹村牧男と共著), 1982. 10, 文化庁文化庁宗務課
3. 「宗教法人の行う事業の概要」(単著), 1984. 7, 文化庁文化庁宗務課編『宗務時報』No.67, pp.18-46
4. 「宗教教団のメディア利用の概況」(単著), 1988. 3, 文化庁文化庁宗務課編『宗務時報』No.77
5. 「宗教法人法成立過程に関する資料(一)」(単著), 1990. 3, 龍谷大学宗教法研究会編『宗教法研究』第10輯
6. 『浄土真宗本願寺派第7回宗勢基本調査報告書』(共著) 1997. 9
7. 『浄土真宗本願寺派第8回宗勢基本調査報告書』(共著) 2005. 1
8. 『宗教と社会変動に関する調査報告書』(単著) 2005. 1
9. 『ひろがるお寺－寺院活性化に向けて』(共著), 2013. 3

その他

(講演録)

1. 「オウムの地層」龍谷大学宗教部『りゅうこく』No.58. 1996
2. 「希薄化, ミレニアムそして宗教」龍谷大学宗教部『仏教と国際関係』(りゅうこくブックス94), 2001, pp.83-105
3. 「「生きる力」という現在日本の問題」文化庁文化庁宗務課『宗務時報』No.108, 2003. 8, pp.1-21

(ブックレット)

1. 「真宗門徒の宗教意識・宗教行動」浄土真宗本願寺派『真宗における伝道』(教学研究所ブックレット), 2001. 3, pp.7-20
2. 「はじめに」(内藤昭文と共著), 浄土真宗本願寺派『生きる力－宗教と倫理』(教学研究所ブックレット), 2002. 9, pp.1-4
3. 古賀和則「「生きる力」という現代日本の問題」, 同上, pp.5-19

(翻訳)

1. W. P. ウッダード「宗教法人法の研究」, 1992. 3, 龍谷大学宗教法研究会編『宗教法研究』第11輯

(記事)

1. 「供物」(単著), 1973. 3, 小口・堀監修『宗教学辞典』pp.170r-171r
2. 「我が国における宗教団体の概要」(単著), 1981.10, 日本宗教連盟編『宗教法人読本』
3. 「新宗教と税制度」(単著), 1990. 3, 井上順孝他『新宗教事典』pp.458-460

4. 「オデイ, トーマス『宗教社会学』」(单著) 島蘭他編『宗教学文献事典』2007, 弘文堂

(判例紹介)

1. 「手続に瑕疵のある規則変更と認証行為の効力」(单著), 1991. 1, 芦部信喜・若原茂編 ジュリスト別冊『宗教判例百選(第二版)』有斐閣

(年表)

1. 「占領下における日本の宗教関係年表」(单著), 1993. 8, 井門富二夫編『占領と日本宗教』